

第 65 回

アークに決めた理由



この記事を読みに来てくださった皆様、お疲れ様です。アーク有限責任監査法人の J2 の Y.M です。今回は「アークに決めた理由」についてお話しいたします。合格後、アーク有限責任監査法人に就職することに決めた理由ということですから、皆様にとっては少々興味がある題材でしょうか。ぜひ最後までお付き合いいただけますと幸いです。

私が合格したのは 2023 年。コロナ禍の終盤で徐々に元通りの生活に戻りつつあった頃でしたが、監査法人の就活は依然としてリモートがほとんどでした。実はその頃の私は大学在学中で、卒業する年度の合格でしたので、社会の厳しさや仕事の大変さというものをあまりわかっていませんでした(今もわかっているか

と言われると怪しいですが…。そのためか、大手監査法人の法人説明会に ZOOM で参加し、法人の紹介動画や担当者の説明をパソコンの画面越しに聞いても、「正直よくわからないな」、「なんかすごそうなのはわかるけど」くらいの感想しか持てず、かといって「何をやりたい」とか「何を知りたい」とかも特段なかったもので、「何がわからないのかわからない」という状態でした(今思うと、大手のネームバリューや社会的信用の大きさもよくよく織り込んで就活すべきでしたが、当時の私は本当に何も知らなかったということです)。

そんな中でなぜアークに決めたかというのと、それは「私のことを知ろうとしてくれたから」だと思います。大手や準大手でリモートが多かった中、アークは対面のイベントも多く開催し、イベント後は決まって懇親会がありました。そこではもちろん法人や監査に関する話になるのです





が、それ以外にも私の趣味や好きなことの話も話題にありました。他の法人だとそういう機会が意外と少なく、すごく新鮮に感じたのです。それが「人を大切にする法人

なんだな」という印象につながり、アークに決めました。「成長」や「キャリアプラン」や「ワークライフバランス」といった考えを一旦取っ払って、私は一緒に働く「人」を重視したのです。

それから一年が経ちましたが、その時の自分の判断は間違っていなかったと感じます。どの法人を選んだとて、成長できるかは自分の気持ち次第です。場所を問わず、必死にやれば成長できるのだと思います。しかし、周りの「人」は何にも代えられません。時に上司から様々なことを学びながら、時に先輩や同期と談笑しながら、着実に働いています。皆様も、そのような人との出会いに恵まれることを願っています。

いかがだったでしょうか。このような就活の視点があるということを紹介できていましたら何よりです。最後まで読んでいただき、ありがとうございます。それでは！